

総合計画審議会の審議状況について（第11回袋井市総合計画審議会 議事要旨）

第3次総合計画 前期基本計画(最終案)について [まとめ](1/2)

【開催概要】

第11回袋井市総合計画審議会を、以下の通り開催しました。第11回の意見交換では、第3次総合計画前期基本計画(最終案)について、各委員からご意見を頂きました。

日時	令和7年10月3日(金)18時30分～20時30分
場所	袋井新産業会館キラット あきはホール
内容	1 開会 2 市長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議事 (1) 第3次総合計画 前期基本計画(最終案)について (2) 意見交換 5 事務連絡 6 閉会



【意見交換での主な意見】

- 外国人に対する厳しい意見がある中、例えば外国人市民が自治会の役員を務めて共に地域活動に取り組むことで愛着や交流が生まれるため、自治会活動の中で多文化共生を常態化し、市民一人ひとりが自分事として関わりながら進めていくことが望ましい。
- いつ何時災害が起こるか分からない状況にある中、「災害に強い支え合いのまち」を目指すことについて、地域と共有して取り組んでいく必要がある。
- 予防医療の推進や相談窓口の充実、地域の生活支援の広がりなど、健康・福祉における重要な取組に対して具体的な指標が示されている点が評価できる。
- 総合計画に定められた「行政経営方針」によるガバナンスが機能するかどうか行政経営のポイントとなる。各指標の目標値をしっかりと実現していくため、「経営資源の強化・最適化」や「変化へ挑む行政経営」に基づいて施策を支える基盤を強固なものとし、実効性を高めること。
- 「行政経営方針」に掲げている官民共創の推進について、行政には地域内外の資源を有効に活用するマネージャー的な役割が求められる。
- 子育てや教育分野では、過去10年間で外国にルーツがある児童や児童発達支援施設の増加など大きな変化があった。今後の10年間も社会が大きく変化することが想定される中、各種指標の数値が良好な状態であっても適切な支援が行われているかは別途把握する必要がある。また、袋井市ならではの「顔の見える関係」を活かし、社会福祉法人や企業、ボランティア団体など様々な主体と連携することで、子育て支援体制が強化されることを期待する。
- 高い目標値を設定している指標がある一方、より高い目標を目指すべきと思われる指標があるなど、目標値の設定理由について疑問が残る。
- 新規就農者を増やすだけでなく、既存の農業者が持続可能な形で支援を受けられるよう考慮すべき。また、子育て支援窓口の情報が浸透していないため、より多くの人に支援制度が周知されることを期待する。
- 前回の審議会では、政策指標と取組指標が関連していない旨の指摘があったが、今回は改善されたと感じた。
大規模災害など前提が変わるほどの重大な変化が生じた場合、目標値を修正することも視野に入れておく必要がある。

総合計画審議会の審議状況について（第11回袋井市総合計画審議会 議事要旨）

第3次総合計画 前期基本計画(最終案)について [まとめ](2/2)



【意見交換での主な意見】

- 総合計画は作って終わりではなく実践が必要。政策や取組を進める際の羅針盤として活用し、市職員が方向性に悩んだ時に立ち戻る参考としていただきたい。
- 主観指標はバイアスがかかるため、毎年の調査結果に一喜一憂せず、トレンドを捉えて改善につなげていくとともに、社会経済情勢の変化に応じて見直しを行うことが重要。
- 農業経営者は高齢化が進んでおり、若い人が少ない現状に不安を感じている。しかし、不安を感じるからこそ、市とともに様々な取組に前向きにチャレンジしていきたいと思う。
- まちの将来像「にぎわい ずっと続くまち ふくろい」について、夜の繁華街がにぎわっているということではなく、生活の安心や子育て支援、笑顔で生き生きとした暮らしを包含する表現として、方向性に期待が持てる。様々な施策の実行には困難も伴うと思うが、住みよい袋井市を目指してトライアンドエラーによるPDCAサイクルを重視して進めていただきたい。
- 本審議会に参加する中で袋井市のことをより深く知ることができた。今後は、地域において行政とのパイプ役となり、様々な情報を伝達していきたい。
- 今回の総合計画では、スポーツ分野に対して社会活性化のエンジンとしての大きな期待を抱いている。施策の実現に向けて関係者の理解を得ながら熱意を持って取り組むとともに、政策評価の中では、各種指標の数値を追いかけるだけではなく、その理由について理解を深めることが重要だと考える。
- 袋井で育つ子どもたちが、将来住み続けたいと思えるまちとなるためには、働く場や学ぶ場、人とのつながりが重要だと考える。こうした視点を取り入れて施策を推進していただきたい。
- 計画の実行にあたり、設定した指標と具体的な施策の整合性を確保しつつ事業を推進していただきたい。また、今回の計画はWell-beingを目指すものだとしており、国や県が掲げるWell-being指標との関連についても整理をしていただきたい。
- 市民は生活の中で不満を感じることもあるが、総合計画の目指す姿を丁寧に説明し、市民のつながりを促すなど、行政だけでなく市民も巻き込みながら施策をダイナミックに実行していただきたい。
- 取組指標の選定や行政経営方針について、話し合う時間が不足していたと感じる。指標設定については計画策定後も市側で引き続き研究していただきたい。また、行政経営方針についても、しっかりとした議論の上でアクションプランを策定していただきたい。